

## 令和2年度(2020年度)第1回北海道病院事業推進委員会 議事概要

### 1 日時及び場所

令和2年(2020年)6月22日(月)18:00~20:00

T K P札幌ビジネスセンター赤れんが前(札幌毎日会館) 5階 はまなす

### 2 出席者

(委員) 小熊委員長、池田委員、土橋委員、寺田委員

(道側) 鈴木病院事業管理者、栗井部長、東次長、笹谷病院経営課長、  
石井人材確保対策室長、有村経営改革課長、小俣経営改革推進指導官、  
各道立病院・子ども総合医療療育センター院長、副院長、事務長 ほか

### 3 議事概要

- ① 令和元年度(2019年度)北海道病院事業改革推進プラン点検・評価書(案)について
- ② 令和元年度(2019年度)道立病院経営状況・取組実績について  
・事務局より説明を行った後、質疑応答、意見交換が行われた。

### 4 委員の主な発言

- ① 緑ヶ丘病院、向陽ヶ丘病院、コドモックルについては、ある程度目的が決まっている医療機関であり、その中でどのように経営改善等を図っていくかが重要である。また、江差病院、羽幌病院については、病院のスタイルを決めなければ、総合病院として地域で維持していくことはなかなか難しいのではないかと。
- ② 新しく設置した職種の確保や看護師の勤務形態の見直しについては、評価できる。
- ③ 職員定数についても、今後、検討していく必要があるのではないかと。
- ④ 診療報酬の適切な獲得などに取り組んでおり、一定の評価はできるものの、全体的な経営改善には至っていないことから、まずは職員のモチベーションを高める取組や勤務環境の改善などが必要ではないかと。
- ⑤ 江差病院の精神科病床については、今後の医療需要と地域での必要性を含め、適正な規模を検討すべきではないかと。また、医師、看護師が不足していることから、地域連携推進法人制度とあわせて推進すべきではないかと。
- ⑥ 羽幌病院については、地域医療を志す医師等の人材育成など、評価できる。また、収支の改善も図られていることから、今後もこうした取組を推進すること。
- ⑦ 緑ヶ丘病院については、今後の患者動向等を踏まえつつ、将来的な精神科医療の需要に応じた病院の運営・規模について検討を進めること。
- ⑧ 向陽ヶ丘病院については、施設基準・加算の見直しにより1日当たり収益単価が上昇していることは評価できるが、今後の患者の動向等を踏まえつつ、将来的な精神科医療の需要に応じた病院の運営・規模について検討を進めること。
- ⑨ 子ども総合医療・療育センターについて、NICUを増床することについては、評価できる。